

現在、好生館では、当館で保管する検体・診療情報等を使って研究を実施しています。この研究は倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、実施しています。

研究の詳細についてお知りになりたい、またはこの研究に対して利用・提供してほしくないと思われた際には、好生館の問い合わせ担当者までご連絡ください。

【研究課題名】 がん薬物療法に伴う味覚障害に対する支持療法としての亜鉛補充療法の有効性の検証

【研究対象者】

2021年8月～2023年3月までの間に、外来で化学療法をされている患者の中で、味覚障害の訴えがあり、かつ血清亜鉛が低値である者

【利用している検体・診療情報等の項目】

〔検体〕 血清亜鉛、ALB、ALP、Hb、TC、TG、CRP

〔診療情報等〕 癌腫、年齢、性別、体組成、味覚障害 Grade、ノベルジン処方有無、生活背景

【利用の目的】

亜鉛が味覚と関連していることは明らかになっているが、抗癌剤が加わることによっておこる味覚障害の基礎的背景については詳細な実態は未だ解明されていない。味覚障害の食生活への影響は大きく、低栄養状態を経てがん悪液質の誘因となり、ひいては生命予後にも影響を与え、患者およびそのご家族にも不安や苦痛を与えるなど、様々な問題を引き起こす契機となる。実際の臨床現場において味覚異常を訴える患者は多いが、医療者側からの評価や対策が講じられているとは言い難い現状である。

化学療法中の患者における味覚障害対策の質向上を目的として、味覚障害が亜鉛補充によって改善されるか検証する。

【研究について】

遺伝子解析研究 (有・無)

営利企業との共同 (有・無)

【利用期間】

2021年8月～2023年3月までの間

【佐賀県医療センター好生館 研究責任者及び問い合わせ担当者】

研究責任者：栄養管理部 満岡佑生

問い合わせ担当者：栄養管理部 満岡佑生

対応可能時間：平日9時～16時

電話：0952-24-2171 (代表)

Eメール：[rinsho@koseikan.jp](mailto:rinsho@koseikan.jp) (臨床試験推進部)

